

# 時代の変化に対応した運営に期待

当町の公共施設については、平成27年3月に策定された小川町公共施設等総合管理計画により、平成27年度から令和26年度までの30年間、更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行い、財政的な負担軽減・平準化・最適な配置を実現することになっています。

このページでは、注目度の高い公共施設をピックアップ！ ぜひ、ご覧ください。

## 公共施設等総合管理計画の基本方針

- ①施設量適正化の推進
- ②長寿命化の推進
- ③適切な施設配置と民間活力導入の促進

## 議会が注目した4つの公共施設 維持費と利用状況

### リリック大ホール

竣工年度：昭和57年  
 年間維持費(※)：約1500万円  
 (平成26年度～30年度の人件費・光熱水費の平均)  
 利用者数：1万6585人(平成29年度)



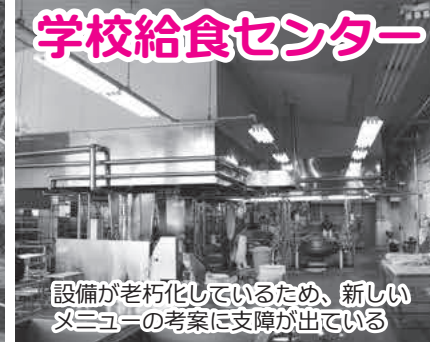
空調・音響等の更新が必要な時期に来ているが…文化の拠点はどうなるのか

### 町立保育園 (3園)



将来の年少人口の推移を見据え、民営化や複合化ができるのか

### 学校給食センター



設備が老朽化しているため、新しいメニューの考案に支障が出ている

### 埼玉伝統工芸会館



「和紙による活性化」の拠点にするためのリニューアルが本当にできるのか

竣工年度：昭和58年～平成2年  
 年間維持費(※)：約2億6800万円  
 利用者数：5万4909人(平成30年度)

竣工年度：昭和55年  
 年間維持費(※)：約1億4600万円  
 総食数：36万2123食(平成30年度)

竣工年度：平成2年  
 年間維持費(※)：約4800万円(指定管理費等)  
 利用者数：約3万9000人(平成30年度)

(※)年間維持費については、人件費を平成27年度～29年度の町職員平均単価により、施設運営及び維持管理に携わる人数を乗じて算出しているため、決算額とは異なります。

## 5つの課題と議会が質す6つのこと

課題 少子高齢化・人口減少・利用者の減少・税収の減少・維持費の増大

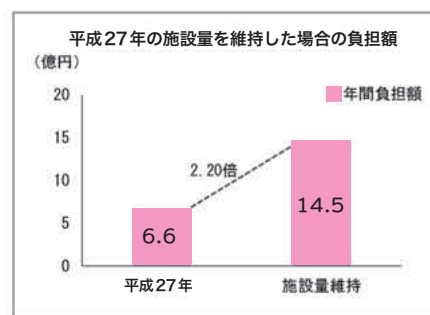


議会はここをチェック!!

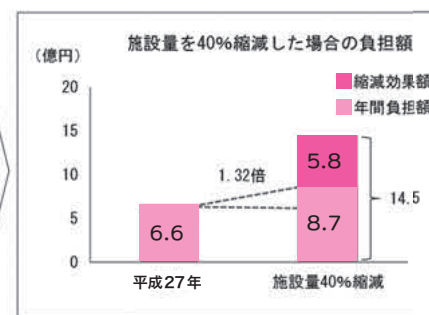
- コストの削減はしたか
- 職員の意識改革は
- 用途転用を検討したか
- 委託先の検証はしたか
- 使いこなしているか
- 民間活力を導入したか

## 公共施設総量(面積)に対する負担額

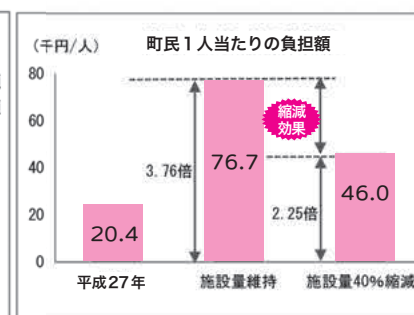
92の公共施設は、「社会・福祉施設、子育て支援施設、学校教育施設、公営住宅、行政施設、供給処理・公園施設」に分類されています。下のグラフは、30年間で公共施設総量を40%縮減した場合の負担額を示したものです。



現状のまま維持した場合、30年後には14億円以上の負担額になる。



30年間で40%縮減した場合、5億8000万円縮減できる見込み。



現在1人当たりの負担額は2万円。縮減できた場合でも、30年後には約4万6000円の負担見込み。